

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スマート農業推進事業
事業主体 (連絡先)	極野区 (090-1433-8236)
事業区分	産業振興、雇用拡大
事業タイプ	ハード
総事業費	2,374,625 円 (うち支援金 : 1,780,000 円)

事業内容

現在農協主体でラジコンヘリによる防除作業が行われているが、私たちがラジコンヘリの免許取得と機械購入をすることは価格が高すぎるため、現実的ではない。これからはドローンの時代であるため、この事業を活用して当区の40代から50代の農業後継者が、一括散布を行うことで労力の軽減、作業効率のアップ、単収増と農業経営の安定を図る。



【除草剤散布試運転の様子】

【目標・ねらい】

- ①高齢化による耕作放棄地をこれ以上増やさない事。
- ②一括購入による除草剤の値引き
- ③作業効率のアップ

※自己評価【A】

【理由】

背負い型の散布機に約 20 kgの薬剤を入れて行う作業が、ドローンで行うことで、省力化、効率化が図れた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・耕作放棄地をこれ以上増やさないことができた。
- ・除草剤等を今までは個人で注文していたが、一括注文することで、10%の経費削減ができた。またそのための会議を行い、情報交換もできた。
- ・試運転を兼ねて散布作業を実施した。今まで背負い型の散布機で行っていたが、ドローンで行うことで、75%の作業時間短縮に成功し、省力化・効率化ができた。
- ・従事者が楽しく散布作業できる環境づくりに資した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

近隣の集落へも呼びかけを行い、散布面積の拡大につとめて、耕作放棄地が増えないように地域の農業を守りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある